

★9月4日に駒岡小学校体育館で駒岡地区防災拠点訓練が実施されました。

2年ぶりに開催された昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者は駒岡小学校岸田校長と担当職員、区役所職員、消防署職員、各町会役員のみとし、人数を大幅に縮小し実施いたしました。

訓練では、各部署の組織や連携体制の確認や、円滑な地域防災拠点運営についての説明がありました。駒岡連合町会小塚邦夫会長からは昨年度より更に具体的な指揮指令体制の確認や避難所設営の説明がありました。

小塚邦夫会長



参加された各町会の皆さん

駒岡消防署の望月署長からは、駒岡小学校敷地内にある防災備蓄庫の備蓄品についての説明がされ、それらの取り扱いについては駒岡消防団の方々による動作確認が行われました。

東日本大震災後に岩手県宮古市で災害派遣経験のある望月署長は「災害訓練をしてきても、実際の災害現場では計画通りにいかないことが多々ありました。しかし、訓練をしていなければ何もできなかったけれど、計画、訓練してきたからこそ、できたこともたくさんありました。」と話され、宮古市の方々から共助の重要性を学んだことも教えてくださいました。それから「地震、風水害が発災されたときに、消防隊や地域消防団員は被災場所に出動していると思うので避難所には不在となります。その時に避難所で重要となるのが平日頃からの地域のつながりです。地域の皆様に共助していただきたい。」というお言葉をいただきました。

鶴見区役所高島課長からも「横浜市災害時における自助及び共助の推進に関する条例」を施行し、「自助」「共助」「公助」の考えに基づき、震災対策を進めているお話をしていただきました。



入り口では手指消毒と検温を実施

望月署長の備蓄品の説明



消防団による動作確認

町会ごとに人数確認の様子



★編集後記★



いつも初夏の頃になると、盆踊りに向けての和太鼓教室のお知らせが、掲示板にはり出されました。「駒岡の夏が来るう〜！」とワクワクしたものです。3年ぶりに「和太鼓教室の募集」のお知らせを掲示板で見て、かつての子ども達もとてもワクワクしていました。

これに参加したという知り合いの子が「太鼓をはじめたんだ！」とピカピカのドヤ顔をみせてくれました。今年の発表の場はなかったけれど、来年、再来年にはきっと太鼓をたたけるはず。

大人たちは楽しみにしていますよ〜！ **Keep on practice**♥